

資料提供年月日	平成30年1月23日	
問い合わせ先	課名	文化振興課
	電話	直通 803-1054 内線 3743
	担当 (職・氏名)	課長 佐藤 副主査 笠原 主事 山根

広報連絡 〈市長定例記者会見資料〉

- 1 件名 第33回「坪田譲治文学賞」の受賞作決定について
- 2 趣旨 岡山市出身でわが国の児童文学に多大な功績をのこした故・坪田譲治氏（岡山市名誉市民）をたたえる「坪田譲治文学賞」の本年度の受賞作決定について発表します。
- 3 受賞作 『キジムナーkids』 現代書館
上原 正三（うえはら しょうぞう）著
- 4 選考経過 平成28年9月1日から29年8月31日までの1年間に、全国で刊行された小説・児童文学等の中から、小説家・児童文学者等から推薦された95作品について、予備選考会を経て候補作4作品を選定しました。
これらを平成30年1月16日（火）開催の選考委員会において審査し、上記の作品が選ばれました。
- 5 贈呈式・記念行事
○日 時：平成30年2月25日（日）14：00～16：00
○場 所：吉備路文学館（岡山市北区南方三丁目5-35）
- 6 問い合わせ先
岡山市文学賞運営委員会事務局
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市文化振興課内
TEL：086-803-1054 FAX：086-803-1763
E-mail：bunkashinkou@city.okayama.lg.jp

[添付資料]

- 資料1 第33回「坪田譲治文学賞」受賞作について
- 資料2 「坪田譲治文学賞」について
- 資料3 「坪田譲治文学賞」受賞作一覧
- 補足資料 取材について

第 33 回「坪田譲治文学賞」受賞作について

(文中敬称略、50音順)

受賞作 『キジムナーkids』 現代書館
受賞者 上原 正三 (うへはら しょうぞう)
正賞 賞状及び記念品 (メダル『鳥の少年』蛭田二郎作)
副賞 100万円

◆選考経過

平成28年9月1日から平成29年8月31日までの1年間(※)に全国で刊行された小説、児童文学等の中から、小説家・児童文学者等から推薦された95作品について、「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」という観点で、予備選考会を経て候補作4作品を選定。

これを、平成30年1月16日(火)開催の第33回坪田譲治文学賞選考委員会(会場:東京都千代田区平河町「ルポール麹町」)で慎重に審査した結果、上原 正三著『キジムナーkids』が選ばれた。

選考委員は、阿川佐和子、五木寛之、川村湊、中脇初枝、西本鶏介、森詠、森絵都の7名。

※選考の基準日は9月1日(岡山市文学賞条例施行規則第2条)

◆受賞者略歴

上原 正三 (うへはら・しょうぞう)

昭和12年沖縄生まれ。中央大学卒業。シナリオライター。昭和39年「収骨」が芸術祭テレビ脚本部門で佳作入選。『帰ってきたウルトラマン』の「怪獣使いと少年」をはじめ差別や公害問題などを扱い、タブーに向き合う脚本家として昭和のヒーロー番組を先導してきた。

◆受賞者コメント

拙著『キジムナーkids』が「坪田譲治文学賞」にノミネートされたと聞いて正直意外でした。盗みかっぱらいをする悪ガキや米兵相手に売春をする少女が主人公だからです。そして文学賞受賞の知らせを受けた時には、「ホント？」過分な評価を頂いたことに驚いてしまいました。坪田譲治先生は児童文学の先駆者です。僕も『ウルトラマン』や『秘密戦隊ゴレンジャー』など50年にわたり特撮番組のシナリオを書いてきました。坪田先生が子ども世界に注ぐ視線に少し近づけた気がします。それが何よりの喜びです。

◆作品の概要

太平洋戦争末期、多くの住民が犠牲となった沖縄地上戦。この戦中戦後を生き抜いた少年たちの物語。洩タレで怖がりの主人公ハナー、10.10空襲で片腕を失ったポーポー、祖父に代わって家計を支える決意をするハブジロー、家族の集団自決を目の当たりにしたベーグァ、米司令官のオンリー（現地妻）を母親にもつサンデー。戦争で傷ついた少年たちは沖縄の伝説の精霊「キジムナー」を拠りどころとし、強く、逞しく成長していく。戦後の沖縄はヤマトの手が及ばなかったため標準語を強いられず、占領下であっても琉球人が伸び伸びと生きられる自由があった。その奇跡的なひと時を、子どもの視点で描いた「ウチナー版スタンドバイミー」。とかく暗くなりがちなテーマをのびやかに陽気に語り、尊厳を失わなかった少年たちの描写は今を生きる大人たちに溢れる勇気を与える。沖縄が強いられてきた多くの痛みと豊かなウチナーグチ（沖縄ことば）を織り交ぜた、新しい沖縄文学の誕生である。

◆選考委員のコメント 森 詠（小説家）

平成29年度の第33回坪田譲治文学賞は、選考委員会が慎重に審査した結果、全員一致で上原正三さんの『キジムナーkids』に決定した。

『キジムナーkids』は敗戦後、米軍に占領された沖縄で、著者の分身らしい主人公を中心にした悪ガキ五人が、食い物もろくにない貧しい生活にもめげず、みんなで逞しく生きていく物語だ。（キジムナーとは琉球語で神聖な熱帯樹ガジュマルに棲む妖精である。）

子どもの純粋な目を見た占領下沖縄の現実と悲惨は、私たちが忘れかけている戦争の記憶を思い起こさせる。著者の実体験に基づいただけに書かれている逸話は生々しく、胸を苦しくさせる。本書はまさしく坪田譲治の子どもの世界にも通底している。

◆【参考】今後の日程

○贈呈式・記念行事 平成30年2月25日（日）14時～16時

[岡山] 吉備路文学館

○祝賀会 平成30年3月20日（火）18時～19時30分

[東京] ルポール麹町

「坪田譲治文学賞」について

(文中敬称略、50音順)

岡山市出身で、わが国の児童文学に新しい分野を拓いた坪田譲治のすぐれた業績を称えると共に、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資することを目的として、昭和59年12月に「坪田譲治文学賞」を制定しました。

◆坪田譲治文学賞

[目 的] 岡山市出身の小説家・児童文学作家で、岡山市名誉市民の坪田譲治の文学活動における偉大な業績を称えるとともに、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資する。

※坪田譲治 (つばた じょうじ)

明治23年(1890年)3月3日生～昭和57年(1982年)7月7日没

[対 象] 9月1日を基準日とし、前1年間に刊行された文学作品(小説、児童文学等)。

[選 考] 文学・出版関係者等から推薦された作品について、「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」という観点で、予備選考会を経て候補作4～6作品程度を選定。その中から選考委員が最終選考を行い、受賞作を選定する。

[表 彰] 正賞 賞状及び記念品(メダル『鳥の少年』蛭田二郎作)

副賞 賞金100万円

[選考委員] 阿川佐和子、五木寛之、川村湊、中脇初枝、西本鶏介、森詠、森絵都(7名)

「坪田譲治文学賞」受賞作一覧

回次	年度	作品名	著者名	出版社名
第1回	S60	心映えの記	太田 治子	中央公論社
第2回	S61	ふたつの家のちえ子	今村 葦子	評論社
第3回	S62	ぼくのお姉さん	丘 修三	偕成社
第4回	S63	四万十川ーあつよしの夏	笹山 久三	河出書房新社
第5回	H1	身がわりー母・有吉佐和子との日日	有吉 玉青	新潮社
第6回	H2	おどる牛	川重 茂子	文研出版
第7回	H3	こうばしい日々	江國 香織	あかね書房
第8回	H4	卵洗い	立松 和平	講談社
第9回	H5	半分のふるさとー私が日本にいたときのこと	李 相琴	福音館書店
第10回	H6	オサムの朝	森 詠	集英社
第11回	H7	泣けない魚たち	阿部 夏丸	ブロンズ新社
第12回	H8	ぼくたちの<日露>戦争	渡辺 毅	邑書林
第13回	H9	ぼくはきみのおにいさん	角田 光代	河出書房新社
第14回	H10	ナイフ	重松 清	新潮社
第15回	H11	ウメ子	阿川 佐和子	小学館
第16回	H12	ニライカナイの空で	上野 哲也	講談社
第17回	H13	翼はいつまでも	川上 健一	集英社
第18回	H14	麦ふみクーツェ	いしいしんじ	理論社
第19回	H15	人形の旅立ち	長谷川摂子	福音館書店
第20回	H16	ペーターという名のオオカミ	那須田 淳	小峰書店
第21回	H17	ぎぶそん	伊藤 たかみ	ポプラ社
第22回	H18	空をつかむまで	関口 尚	集英社
第23回	H19	しずかな日々	椰月 美智子	講談社
第24回	H20	戸村飯店青春100連発	瀬尾 まいこ	理論社
第25回	H21	トーキョー・クロスロード	濱野 京子	ポプラ社
第26回	H22	おれのおばさん	佐川 光晴	集英社
第27回	H23	鉄のしぶきがはねる	まはら 三桃	講談社
第28回	H24	きみはいい子	中脇 初枝	ポプラ社
第29回	H25	世界地図の下書き	朝井 リョウ	集英社
第30回	H26	クリオネのしっぽ	長崎 夏海	講談社
第31回	H27	いと森の家	東 直子	ポプラ社
第32回	H28	Masato	岩城 けい	集英社
第33回	H29	キジムナーkids	上原 正三	現代書館

●受賞者への取材について

電話取材を希望される場合は、株式会社 現代書館または、受賞者様本人へご連絡ください。

◆連絡先

株式会社 現代書館 編集部 山田（やまだ）様
電話 03-3221-1321
FAX 03-3262-5906

受賞者 上原 正三（うえはら しょうぞう）様
電話 0427-95-7131

●書籍について

書籍が必要な場合、市民生活局文化振興課（山根・笠原）までお問い合わせください。

●受賞者の写真、書影について

受賞者の写真、書影データが必要な場合、市民生活局文化振興課（山根・笠原）までお問い合わせください。